

藤沢

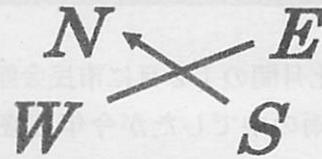
# エコネット

2013年1月1日

第224号

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



[http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa\\_econet/](http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/)

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

- 主 事：原発に頼らないエネルギーの枠組転換は
- な 事：ふじさわ環境フェア 今年も盛大に！
- 記 事：遠藤笹窪谷 健康の森管理運営協議会発足
- 事 事：放射能測定値

## 原発に頼らないエネルギーの

### パラダイムシフト（枠組み転換）はできるか。

藤沢市環境基本計画ではCO<sup>2</sup>削減目標は1990年比40%を掲げている。昨年12月には「第17回ふじさわ環境フェア」が盛大に行われ、藤沢エコネットは企画実行委員会に参加し開催を支えてきた。「低炭素都市藤沢をめざして」をスローガンに掲げている藤沢エコネットは「シェーナウの想い」の上映会を行った。参加者の感想では、日本がめざすべきこれからのエネルギーは、自然エネルギー（再生可能エネルギー）90%で、原発依存を続けるは10%であった。そして、自然エネルギー社会をめざすことこそ、地域経済を、そして何よりも子どもたちの未来を守ることに繋がるとの意見が80%、よりよい社会への第一歩は、まちの住民たちが皆で集い、共に考え、知恵を出しあうことから始まるが70%を占めた。

パナソニック藤沢事業所跡地で「省エネ・創エネ・蓄エネ」の技術を駆使し、藤沢市とパナソニックなどは環境配慮型都市をつくり上げる「Fujisawaサスティナブル・スマートタウン」構想を共同で進めている（検索 → Fujisawa SST参照）。総事業費は約600億円。パナソニックが約250億円を負担し、市は道路整備のほか、県と連携して太陽光パネルの設置補助などを行う。

これにより、「まち」全体のCO<sup>2</sup>排出量を1990年比70%削減。将来はCO<sup>2</sup>排出ゼロをめざすとしている。次世代送電網「スマートグリッド」の実証も含めCO<sup>2</sup>削減をめざす「環境創造まちづくり」は「Fujisawaモデル」と呼ばれ、2012年10月にマネジメント会社設立を決定した。1000世帯が暮らし、管理組合や自治会の枠組みを越え、事業として街全体をマネジメントする企業体組織をめざすプロジェクトが2014年春に誕生する予定。「生活者が主体」で暮らしを起点とするスマートで、サスティナブルな都市をめざし、70%のCO<sup>2</sup>削減、再生エネルギー利用率30%以上を目標にしているが、原発とのかかわりや「発電電分離」との関係はどうか。また、節電型システム効果等について知りたいものである。

国民は原発にたよらないパラダイムシフト（新しい枠組みへの転換）を求めている。この事業には藤沢市民の税金が投入されている。私たち藤沢市民は大いに関心を持っている。今後、市議会やふじさわ環境フェア等で取り上げ、市民的な検討が必要ではないかと考える。（宮地）



元日の江の島

多数の市民団体 企業 などの参加で  
ふじさわ環境フェア 2012 今年も盛大に！

地球温暖化月間の12月に市民会館で、あいにくの小雨の中でしたが今年も盛大に開かれました。

地球温暖化やゴミ、放射能汚染、環境破壊などの環境問題を取り上げ展示も数多く見られました。市民と行政、企業などが力を合わせ、少しでも関心を持って住みよい藤沢の実現を願うことに期待しています。

子どもたちはクイズラリーで「答えはどこ？」とかけまわりおもしろかったと、環境クイズ大会で大盛り上がりを見せていました。参加者は、「今年もお会いできましたね！」と交流を深め立ち話も…。山ほどのトイレットペーパー取得や参加景品を持ちながらの風景でした。



環境クイズ王決定戦で！

☆「シェーナウの想い」上映は藤沢エコネット主催で開かれました。

世界に先駆けて脱原発を表明したドイツでは自然エネルギー（再生可能エネルギー）社会に向けて着実に歩みを進めています。ドイツのシェーナウは近くに原発を臨む小さな町で、チェルノブイリ原発事故（1986年）後に子どもたちの未来に不安を持った親たちが集まり「自分たちで電力会社をつくってしまおう！」と市民による運動が起こり、原子力のない未来を願う小さな運動はやがて電力革命を巻き起こし、ついにドイツの電力史を塗り替えます。

1997年について「シェーナウ電力会社」をつくった市民の、数々のトラブルや圧力にめげず、議会を動かし、2回の住民投票にも僅差で勝ち必死で闘った記録のドキュメンタリー映画でした。ちょうど福島原発の事故で恐ろしさも分かっている時にタイムリーな映画でした。

感想文から 最も印象に残ったこと

- ・小さな村から全世界に向けて発信して協力を得られたこと。 ・住民の忍耐に感動しました。
- ・住民の力。 ・あきらめずにねばり強く活動することの大切さ。
- ・いくつもの手続きを経る必要があり、それには持続する力が必要なこと
- ・「あきらめない」という事、目的のために努力し続けること。

ご意見

- ・素晴らしい映画でした。大企業である電力会社と闘って電力網まで買い取ってしまうために小さな村から世界に発信して協力を得て 自分達の願いを達成した人々のエネルギーに感動しました。
- ・この映画から勇気をもらいました。
- ・ずっと観たいと思っていましたが、機会を逃していたので、今回観ることができて良かったです。次回、電力についてなども興味あります。どうも有り難うございました。

午後からは藤沢市放射能測定器運営協議会・消費生活センター主催の「福島原発事故・東日本大震災から～みえてきた街の暮らし市民の選択」というテーマで長谷川公一氏（東北大学院教授）を講師に迎えてのお話がありました。(H)

## 遠藤笹窪谷戸

### 健康の森管理運営協議会発足

#### 三大谷戸の歴史と現状

市街化の進む藤沢において残された豊かな自然として谷戸の環境があります。藤沢には、東から三浦丘陵、相模野台地、高座丘陵が連なる地形で、台地や丘陵の緑地を背景として、それぞれに独自の環境を持つ、川名清水谷戸、石川丸山谷戸、遠藤笹窪谷などの谷戸環境が存在していました。

高度成長期の都市化により、それぞれが開発の波に見舞われ、緑地が細る中、谷戸の自然環境は、地元地権者や保全団体の地道で粘り強い活動で、最小限の開発にとどめられてきた歴史があります。

#### 市の中心部の川名清水谷戸

川名清水谷戸は、古い地層を有することから、有史以前には横穴式墳墓などが存在した歴史ある地域です。太平洋戦争以前より軍需工場が操業し、岩盤地帯を利用する弾薬庫などの建設をめくり、地権者と開発者の葛藤が繰り返られていました。

太平洋戦争後は、昭30年代の神奈川県都市計画制定による県道藤沢横浜線の事業計画用地として、いまでも存続が危ぶまれる状況が続いております。片瀬山一帯の大規模な宅地開発により、緑地は少なくなっていますが、市内の中心より徒歩10分程度の所にあるまとまった自然環境として、公園整備と共に農業者による水田・畑地環境として保全され、「川名里山レンジャー隊」「川名自然フォーラム」などが、「地権者の会」と共に保全活動に取り組んでいます。

#### 引地川と一体となった石川丸山谷戸

広大な相模野台地に旧軍の飛行場が整備され、戦後は大規模な工業団地となります。大和市泉の森を水源とする引地川の支流には複数の谷戸環境が現存しています。

石川丸山谷戸は、一時、市の最終処分場候補となりましたが、今では田園景観の観点から水田が整備復旧され、石川丸山谷戸援農クラブなどによって体験学習の場として活用されています。

#### 小出川源流域の遠藤笹窪谷

本稿の主テーマである谷戸が、市内西北部に位置する遠藤笹窪谷です。

“九十九谷戸”といわれた高座丘陵の北側に位置し小出川を挟んで茅ヶ崎市芹沢と繋がる広大な地域の中にある江ノ島道から御所見地区を通り、大山阿夫利神社

(低炭素都市ふじさわをめざして)

に至る大山街道が通る古い歴史を持つ里山です。

古くから集落があり、関東大震災による被災地としての記録もありました。昭和40～50年代には当時の環境庁の調理標識調査も行われていたところでした。

大庭自然探偵団がこの地に関わるようになったのは、発会后間もなくの頃で、希少な動植物の生息・自生地として生態系の調査・保全活動に取り組み、市内でもここだけとされたミズニラの群生を確認するなど、貴重な成果をあげてきました。

#### 遠藤笹窪谷戸の環境に危機的状況

市では、畜産物尿尿の捨て場となっていたことから、早い時期に谷戸底部分を買上げてきたようです。この谷戸地の開発計画が具体化した後は斜面林の買い上げも進め現在では大半の部分を取得しています。

同じ時代にすすめられてきた慶応義塾大学湘南キャンパスの建設が、ほぼ終了したころ、谷戸の開発が一気に加速してきました。

私たちは市の建設部局と、開発により失われる自然の大切さについて粘り強い協議を重ねてきましたが、当時は理解が得られず1990年代に最大の危機が訪れます。

ライフタウン地区に建設された湘南東急の建設残土が、一部の市幹部による不明瞭な手続きの中、突如谷戸に搬入され、その量は4,000㎡に及びました。

何ら希少種に配慮しない乱暴な残土搬入により、市域から、ミズニラをはじめ貴重な植物群落が絶滅をしました。私達の力不足によるもので痛恨の極みであります。

同じころ、藤沢探鳥クラブとの共同調査で「種の保存法」に指定された「希少種」の営巣・繁殖が確認され、さっそく国・県・市への報告と、国家的規模での保護対策の必要性を訴えた結果、残土搬入は中断し、現在残る場所で固定化しました。

#### 三大谷戸の保全が市の政策となる

前市長・海老根靖典氏は自然環境への理解があり、市政の課題として「三大谷戸の保全」を訴えました。当時の西北部整備事務所に「健康の森あり方検討会」が設置され、地元地権者、遠藤まちづくり推進協議会と3つの環境団体が同じテーブルにつき、多方面の専門家のアドバイスを受けながら「健康の森」と名付けられた遠藤笹窪谷の保全活動に取り組むこととなりました。

それぞれの立場の尊重と、お互いの主張を真摯に交わしながら回を重ね、平成24年3月に、「まちづくり

次ページに続く

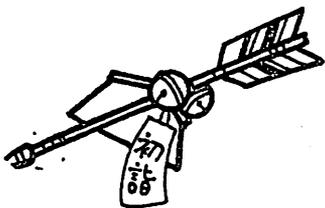
推進部西北部長後地区整備事務所」より「健康の森基本計画」がまとめられ、新任された鈴木恒夫市長への答申を経て、市議会における承認を受け、重要な施策として取り組まれる課題となりました。

大庭自然探偵団は、市や地元 NPO との協働のために団有志による発展的団体として NPO として藤沢サンクチュアリを立ち上げ(理事長予定・高橋和也)、管理運営協議会に参加することとなりました。

管理運営の長期・短期の事業計画を提案し、承認をいただき、その第1回目の作業として24年12月1日(土)15日(土)の2回にわたり、谷戸最深部の左岸部分にてアズマネザサの刈取り作業を行ないました。

「健康の森管理運営協議会」は、遠藤まちづくり推進協議会、地域代表、藤沢探鳥クラブ、遠藤竹炭の会、NPO 法人里地里山景観と農業の再生プロジェクトの委員と共に、遠藤市民センター、市まちづくりみどり推進課、慶應義塾大学湘南藤沢事務局をオブザーバーに、日本大学生物資源科学部準教授のアドバイスも受け、協議会を重ねています。

谷戸内をゾーニングし、「旧グラウンド」部分には地元の強い要望で菖蒲園、水田ができますが、これは20年前に持ち込まれた建設残土を掘り起こして造られるもので、谷戸低地の湿地再生への一歩となることを期待しています。今後、長い年月と多額の市税を投資して、「健康の森」が整備されていきます。みなさまのご支援・ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。( '12年12月末日 藤沢サンクチュアリ会員袖岡三津男)



### 放射能測定値

土は大変高い数値です

庭の表土(1cm程度)を市に依頼し測ってみました。藤沢の計測 亀井野 132<sup>μ</sup>Cl<sup>137</sup>/kg (同じ土を横浜市戸塚区の計測では 216<sup>μ</sup>Cl<sup>137</sup>/kg)

長後 128<sup>μ</sup>Cl<sup>137</sup>/kg 白旗 66<sup>μ</sup>Cl<sup>137</sup>/kg

羽鳥 49<sup>μ</sup>Cl<sup>137</sup>/kg 大庭(田んぼ) 48<sup>μ</sup>Cl<sup>137</sup>/kg

事故前でしたら放射性物質としてドラム缶に詰めて厳重に管理すべき線量です。

亀井野の土は(アロカのシンチレーション)では空間で0.04<sup>μ</sup>Sv/hほどの数値しか出ていません。

### ECONET INFORMATION

#### 社会性ハチ類と生物多様性

「ハチが豊かな命のつながりに果たす役割」

講師 小野正人氏(玉川大学教授)

1月27日(日)14:00-16:00 藤沢産業センター7階

主催:川名自然フォーラム 無料 ☎090-4264-0951

#### ENEX2013「地球環境とエネルギーの調和展」

日時 1月30日(水)~2月1日(金)10時~17時

会場 東京ビッグサイト 東1ホール 無料

主催/申込み 一般財団法人省エネルギーセンター

(ENEX2013)(株)ICS コンベンションデザイン

電話:03-3219-3569 ファックス:03-3219-3628

e-mail:low-cf@ics-inc.co.jp

#### 海が教えてくれたこと

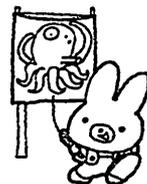
基調講演 海野義明氏(NPOオーシャンファミリー海

洋自然体験センター) パネルディスカッション

日時 2月16日(土)13:30-16:15

場所 かながわ女性センター 無料

申込み 2/8まで FAX045-2103260



#### 藤沢エコネットから

「真実はどこに?」放射能汚染を巡って

内部被ばくに関する衝撃的な論争とベラルーシの犯罪的な現実の記録の映画です

吉田邦博さんによる福島の実況報告

1月26日(土)10:00-12:00 無料

藤沢市総合図書館ホール(湘南台駅東口6分)

会費・購券料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行(9900)店番(029)

当座預金 0046501 が ざ い ね っ と

(従来の振入方法も利用できます)

会員募集=年会費・購券料→3000円

事務局会議 1月10日(木)14:30~

市民活動推進センター



《編集後記》2013年元旦。箱根駅伝で30年ぶりに優勝を手にした日体大。その秘訣は、生活を見直し、規則正しい生活を築いていく事からだったという。持久力、体力、気力、皆規則正しい生活リズムから生まれる。健康な体に健康な精神が宿る。藤沢エコネットは低炭素都市藤沢をめざし健全な提言をしていきたい。今年もよろしくお願ひ致します。(A)